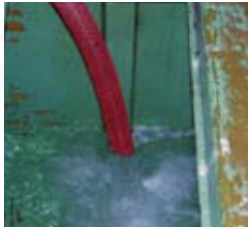


## しまね定置もん

島根県沿岸の定置網で獲られた魚を漁獲直後から出荷まで「殺菌冷海水」を使い、鮮度保持と衛生管理をしています。簡単に言うと、魚の一番活きのいい状態を保つことで、高鮮度が均一、つまりどの魚でも鮮度のばらつきが少なく安全・新鮮。さらにとれたての鮮度が抜群に良く、新鮮さも持続します。これが「しまね定置もん」です。



出港前、船倉に殺菌冷海水を積み込みます。



獲れた魚はすぐに殺菌冷海水の船倉に入れます。



帰港後、すぐに魚の仕分け作業をし、冷却します。



魚の体温を測ります。概ね5℃以下に保ちます。



箱に認証シールを貼って、市場等に出荷します。

## 資源豊かな島根の海を創ります

### 「漁民の森づくり」活動

豊かな森は豊かな海をつくる「森は海の恋人」を合言葉に、漁業者が山に木を植える「漁民の森づくり」活動が全国各地で行われるようになりました。

島根県においても、平成13年度から取組みを開始し、本組合が直接実施している地区においてはこの6年間に総面積66,850㎡の土地に広葉樹を中心として14,590本の苗木を植樹しました。また、これ以外に多くの地区で自発的活動として植樹活動が実施されております。

しかしながら、植えばなしでは木々は成長しなく、苗木が一人前となるには10年くらい成長を助ける育樹期間が必要とされています。ですから、今後は特に、地元漁業者や地域のボランティアの協力を得ながら、植樹地周辺の下草刈りや伐採など「育樹」を中心に事業展開していきます。



### 『石けん洗剤推進運動～自然環境を守る～』

森と海をつなぐ川も含めた環境保全活動の一環として、漁協女性部を中心に石けん洗剤をはじめとする各種石けんの使用普及運動を進めています。今後も身近なところからその取り組みを進めていきます。

### 島根県下一斉海浜清掃活動

「海の日」を中心に7月を島根県下一斉海浜清掃月間と位置づけ、毎年海浜清掃活動に取り組んでいます。当日は、漁協組合員を始め、地域ボランティア、日頃から水産関係に携わる県庁職員、水産団体職員も参加し、毎年5,000名余で実施しております。毎年実施しているにもかかわらず回収ゴミの量は減らず、外国からの漂着ゴミに加えて、磯場や防波堤付近には釣具や弁当ガラ、空き缶といった「ポイ捨てゴミ」の量が増える傾向にあります。

